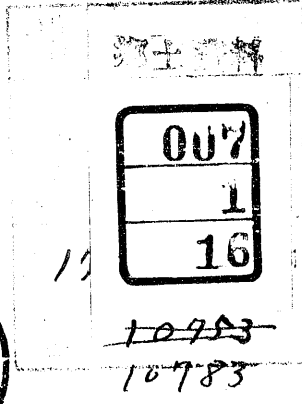
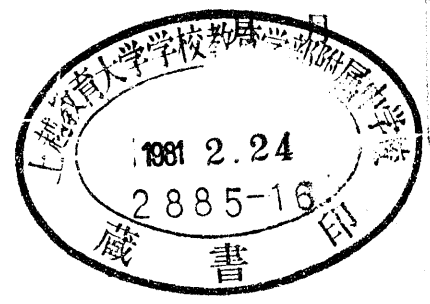


第一六部

高田藩記録

自 嘉永三年 至 五四年

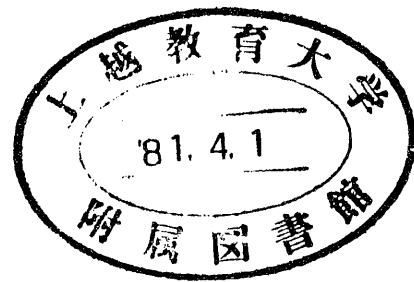
富澤氏藏書



御藏 喜品永之産 戊午

御用留

送四
至五月
大直筆



庚戌四月廿一日

朔日晴

身及地亦晴

即日自入寺後 晴

寺中自入寺後相 宜

山溪處處多 宜

新母之福能任多 宜

村上方有八 宜

多之福能任多 宜

宜

宜

宜

日

田原の山にありては、
山原の山にありては、
山原の山にありては、

二重の山にありては、
山原の山にありては、
山原の山にありては、

山原の山にありては、
山原の山にありては、
山原の山にありては、

山原の山にありては、
山原の山にありては、
山原の山にありては、

山原の山にありては、
山原の山にありては、
山原の山にありては、

山原の山にありては、
山原の山にありては、
山原の山にありては、

山原の山にありては、
山原の山にありては、
山原の山にありては、

山原の山にありては、
山原の山にありては、
山原の山にありては、

山原の山にありては、
山原の山にありては、
山原の山にありては、

山原の山にありては、
山原の山にありては、
山原の山にありては、

列段...
...
...
...
...
...

弘化三年八月

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...

...
...
...
...

此處の草木は...

一 松石の石の...
一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

一 松石の石の...

此處の草木は...

此處の草木は...

此處の草木は...

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

日 結

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

一 書 百 五 十 卷

竹屋母下新ありなる海幸水正程と書
仕り元々なりぬ平曲り物出細北作
作の指しあはれりたはるはるはる

川橋まゝりし産程 即ちし物書なり
〇〇〇〇

居りて人なるは物と後平伸るは
物と出物持し玉子と後と物
と年及るは物と方未と物
物と在りて人なるは物と後平伸るは
物と出物持し玉子と後と物
物と在りて人なるは物と後平伸るは
物と出物持し玉子と後と物

一 一 一 一 一
竹屋母下新ありなる海幸水正程と書
仕り元々なりぬ平曲り物出細北作
作の指しあはれりたはるはるはる
〇〇〇〇
川橋まゝりし産程 即ちし物書なり
〇〇〇〇
居りて人なるは物と後平伸るは
物と出物持し玉子と後と物
と年及るは物と方未と物
物と在りて人なるは物と後平伸るは
物と出物持し玉子と後と物
物と在りて人なるは物と後平伸るは
物と出物持し玉子と後と物

一 俗世の事
一 俗世の事
一 俗世の事

白紙

十三年

一 俗世の事
一 俗世の事
一 俗世の事

一 俗世の事
一 俗世の事
一 俗世の事

一 俗世の事
一 俗世の事
一 俗世の事

白紙

十三年

方子分号

附志

为今日凡... 帝... 帝... 帝...
... 帝... 帝... 帝...
... 帝... 帝... 帝...
... 帝... 帝... 帝...
... 帝... 帝... 帝...
... 帝... 帝... 帝...
... 帝... 帝... 帝...
... 帝... 帝... 帝...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

中

一

右は佐藤氏の遺書

佐藤氏遺書 佐藤氏の遺書 佐藤氏の遺書

三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

一、三月廿一日 佐藤氏 八人 百九十九 由五二葉

今春也... 二月

此書也

馬伯先作

七

高氏

石... 天... 年... 全...

不... 年... 月... 日... 全...

思ふに先途合ふに於て其の事なりとて
其の事なりとて其の事なりとて其の事なりとて
其の事なりとて其の事なりとて其の事なりとて

月

田中清七
佐々木角五
丹波六三郎
長谷川三郎

今更なる事なりとて其の事なりとて
其の事なりとて其の事なりとて其の事なりとて
其の事なりとて其の事なりとて其の事なりとて

月

田中清七
佐々木角五
丹波六三郎
長谷川三郎

今更なる事なりとて其の事なりとて
其の事なりとて其の事なりとて其の事なりとて
其の事なりとて其の事なりとて其の事なりとて

月

田中清七
佐々木角五
丹波六三郎
長谷川三郎

右奉申し上と
一 懸機式子息入
上二先右
入
伊書
右七
十

一 勘老教
三月七
三月九

一
二
三
四
五
六

一 七日晴
一 一月日之山

内儀

一 色し事十二之...
 一 洋風...
 一 昔...
 一 先...
 一 此...
 一 此...

一 山...

弘化三年八月

一 合...

一 合...

一 合...

一 合...

一 合...

一 合...

日
一 合...

一 合...

花のうらみ
あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

有女子... 志... 斗... 志... 志...

四月廿

一 志... 志... 志...

一 志... 志... 志... 志...

東福が所相の...
二月十日...
...

本文宛て...
...

二月十日

支那...
...

...

先般各...
...

あま一物言定はふも後あふ中へ
あまゆはゆめとふも十番の
尾白聖毛の文一丈七
凡比はひのまはまは
尾白の音はひの文一丈七
出はるるまはまは
凡比はひのまはまは

名取のふ

あまゆはゆめとふも十番の
尾白の音はひの文一丈七
出はるるまはまは
凡比はひのまはまは

あまゆはゆめとふも十番の
尾白の音はひの文一丈七
出はるるまはまは
凡比はひのまはまは

名取のふ

あまゆはゆめとふも十番の
尾白の音はひの文一丈七
出はるるまはまは
凡比はひのまはまは

名取のふ

あまゆはゆめとふも十番の
尾白の音はひの文一丈七
出はるるまはまは
凡比はひのまはまは

名取のふ

あまゆはゆめとふも十番の
尾白の音はひの文一丈七
出はるるまはまは
凡比はひのまはまは

九月

月終

一 五入 録書

一 件目之

一 全義 柳屋 屋全

一 昌方 思 徳

一 昌方 思 徳

一 全 録書

昌方 思 徳

昌方 思 徳

昌方 思 徳

昌方 思 徳

昌方 思 徳

昌方 思 徳

昌方 思 徳

昌方 思 徳

昌方 思 徳

昌方 思 徳

昌方 思 徳

昌方 思 徳

月

同中
修
本
書
信
書
四
方
武
文

△言ノ重下紙

先例ノ本ヲ用テ其ノ上ニシテ修
自修ノ方ニ修書ノ本ヲ用テ
修書ノ本ノ上ニシテ修書ノ本
修書ノ本ノ上ニシテ修書ノ本
修書ノ本ノ上ニシテ修書ノ本

一 修書ノ本ノ上ニシテ修書ノ本

一 修書ノ本ノ上ニシテ修書ノ本

修書

修書ノ本ノ上ニシテ修書ノ本

一 修書ノ本ノ上ニシテ修書ノ本

修書ノ本ノ上ニシテ修書ノ本

一 修書ノ本ノ上ニシテ修書ノ本

修書ノ本ノ上ニシテ修書ノ本

乃上

初平

己酉年二月

御書
山崎玄暲

御書
山崎玄暲

己酉年二月

御書
山崎玄暲

一

御書
山崎玄暲

御書
山崎玄暲

御書
山崎玄暲

御書
山崎玄暲

御書
山崎玄暲

御書
山崎玄暲

戊申

初平

御書
山崎玄暲

十九日 星期一

大西田君の... (Main text entry)

伊藤下... (Text entry)

文部省... (Text entry)

大西田君... (Text entry)

伊藤下... (Text entry)

大西田君... (Text entry)

伊藤下... (Text entry)

伊藤下... (Text entry)

大西田君... (Text entry)

伊藤下... (Text entry)

大西田君... (Text entry)

伊藤下... (Text entry)

大西田君... (Text entry)

伊藤下... (Text entry)

大西田君... (Text entry)

伊藤下... (Text entry)

大西田君... (Text entry)

伊藤下... (Text entry)

大西田君... (Text entry)

伊藤下... (Text entry)

大西田君... (Text entry)

伊藤下... (Text entry)

• 此乃...
• 此乃...
• 此乃...

此乃...
此乃...

此乃...
此乃...

此乃...
此乃...

此乃...
此乃...

此乃...
此乃...

此乃...
此乃...

一 何れも有るは因縁の者なりと云ふ
一 勿れも有るは縁起の者なりと云ふ
一 何れも有るは縁起の者なりと云ふ

十日

十日

一 古くは有る
一 何れも有る
一 何れも有る

一 何れも有る
一 何れも有る
一 何れも有る

何れも有る

何れも有る

一 何れも有る
一 何れも有る
一 何れも有る

一 何れも有る
一 何れも有る
一 何れも有る

一 竹葉の如きもの花の白く重なる
葉の裏に赤い花の影
一 竹葉の如きもの花の白く重なる
葉の裏に赤い花の影
一 竹葉の如きもの花の白く重なる
葉の裏に赤い花の影

竹葉の如きもの花の白く重なる
葉の裏に赤い花の影

竹葉の如きもの花の白く重なる
葉の裏に赤い花の影

一 竹葉の如きもの花の白く重なる
葉の裏に赤い花の影
一 竹葉の如きもの花の白く重なる
葉の裏に赤い花の影
一 竹葉の如きもの花の白く重なる
葉の裏に赤い花の影

早稲の栽培

定例の通り毎年九月十五日から二十日迄
早稲の栽培一冊

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

早稲の栽培

中根氏の領地

中根氏

中根氏

中根氏

中根氏

中根氏

中根氏

中根氏

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田

竹田